

思春期における教師と保護者の子育て叱り方スキル10

- ①短く叱れ!あっさり叱れ!さわやかに叱れ!**残念でもこれからも応援していく宣言をする**
- ②最高の叱り方は、**本人が自分で自分を叱ること!**
- ③追い詰めるな...言い訳をを聞け!**その言葉を編集してフィードバックさせよう**
- ④あなたメッセージ(**指示、命令**)よりも、わたしメッセージ(**私はこう感じる**)が有効!
- ⑤感情的になるな、固執するな!**気持ちの余裕やゆとりは、呼吸コントロールで**
- ⑥なじるな、愚痴るな、蒸し返すな!**課題は何度も繰り返すものです。**
- ⑦本人を見つめる/**気づくチャンス!**
- ⑧**叱り方の基本は、1対1の個別指導!**
- ⑨未熟な自分だから、**叱る勇気**をもちたい!
- ⑩小言が大事なことに繋がると**実感するとき**、小言が「おおごと」として**本人に受け入れられる。**



叱り方とは
人々を引離す
感情である

叱り方のコツ①短く叱れ!あっさり叱れ!さわやかに叱れ!

- 叱るときには、「手短かに叱れ」「あっさり叱れ」と強調される。
- 見にしてみる「叱られ方」は、短くピシャッとやられ、その裏に愛情がジワッと感じたものである。
- 長々とした説教は、自分が悪いとは知りながら反発や反抗の気持ちがわき起こり、何で叱られたか忘れたが、しつこく叱られたことだけ覚えている。
- 叱る方は「大切なことだから、しっかり教えて...」の気持ちが先立つが、叱られる方はたいてい「失敗した、まずかった」と思っているから、その「大切なこと」まで思いがいたらない。
- 「叱り方」とは、単なる方法の問題ではなく、その教師の生き方にかかわる問題である。教師の人間観、人生観、教育観などにかかわるものである。

感情である
人々を引離す
叱りとは

人は、外界からの刺激/環境 出来事 対人により、**心が揺らぎます**。そして、とらわれます。そして、怒ります。怒ると考え方が暴走します。私は、これが得意です。暴走すると自分でも止められなくなります。そして、相手との関係が悪くなり、微妙な距離感が生まれてしまいます。**怒りとは、人と人を引き離す感情です**。怒りがすべて悪いわけではありません。人は、そんな動物ということです。それに気が付くことが大切です。気づいたから行動が抑制されることもあります。時として暴走します。そんな時は、ああやってもうたと言って、**謝罪会見スキル**を発動するようにしています。

